

Jミルクが2020年9月25日に公表した「需給見通し(※2020年6月迄実績)」の予測値とその後の実績をグラフ化しています。毎月25日の「牛乳乳製品統計(農林水産省)」の公表に併せて、今後も随時、配信していきます。発行：一般社団法人Jミルク生産流通グループ

《生乳需給は緩和基調へ～下期の生乳需給について～》

・8月の需給実績については、中旬以降の猛暑によって、都府県で生産量が大幅に減少する中、学乳の供給が加わったことや、牛乳の家庭内消費も好調だったことから、都府県の生乳需給は逼迫基調で推移した。一方、業務用需要が完全な回復に至らないことから、脱脂粉乳・バター在庫は引き続き高水準となっている。

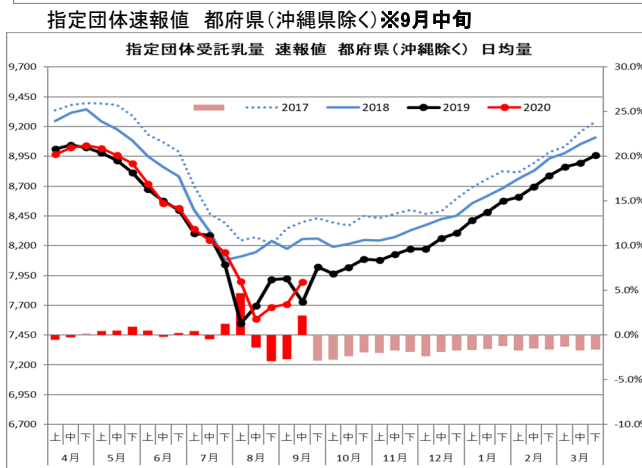
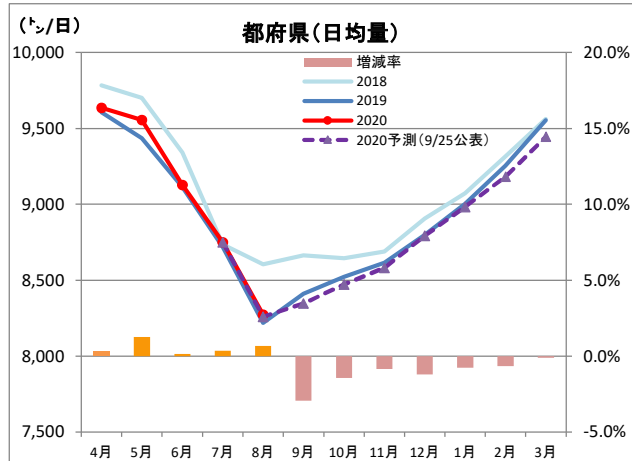
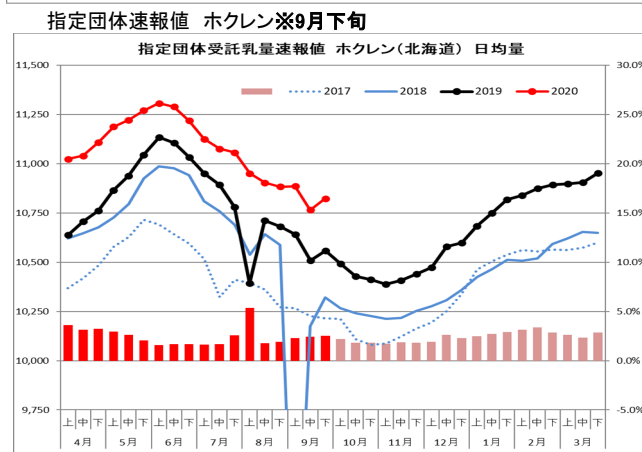
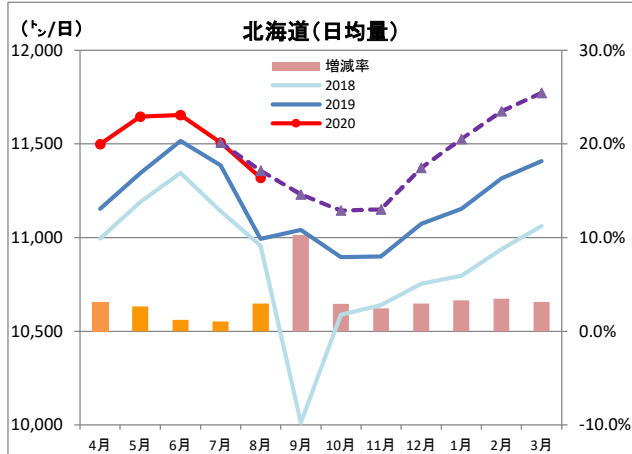
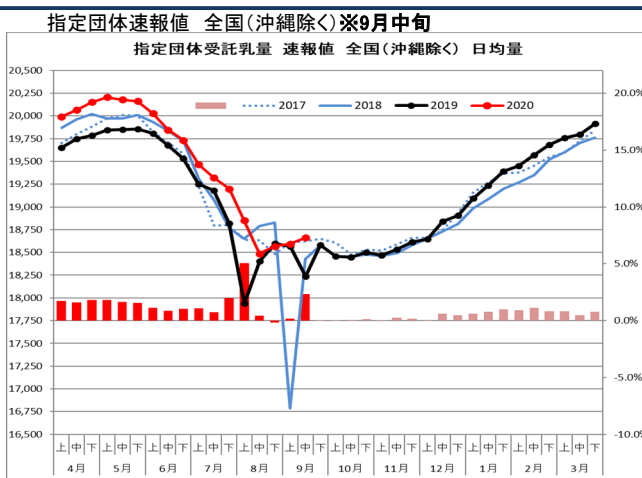
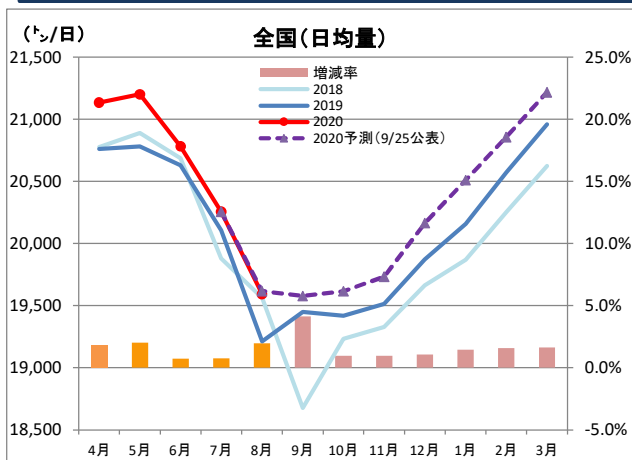
・なお、直近(9/28週)の牛乳の家庭内消費については、前週(9/21週)と同程度の水準で推移しており、落ち着いた販売状況となっている。

・今後は、冬季に向けて、都府県の生乳生産が増加していくが、業務用需要の回復が見込めない場合、生乳需給は緩和傾向となることも危惧されることから、業界として需要拡大に取り組んでゆくことが重要となる。

・また、台風14号が週末にかけて日本列島に接近する見通しとなっており、生産現場での警戒・備えに万全を期すとともに、牛乳等の供給に混乱が生じないように、引き続き業界で一致協力した対応が必要になると考えられる。

【生乳生産量】※増減率は、日均量で算出。

- (1) 8月の生乳生産量は、全国607千ト(前年同月比102.0%)、北海道351千ト(同102.9%)、都府県256千ト(同100.7%)。
- (2) 全国では、Jミルク予測値(608千ト)と同程度で推移している。
- (3) 北海道は、予測値(352千ト)と同程度で推移している。
- (4) 都府県は、予測値(256千ト)と同程度で推移している。
- (5) 直近の指定団体速報値によると、全国が同102.3%(9月中旬)、北海道が同102.5%(9月下旬)、都府県(沖縄除く)が同102.2%(9月中旬)。



【牛乳等生産量】※増減率は、日均量で算出。

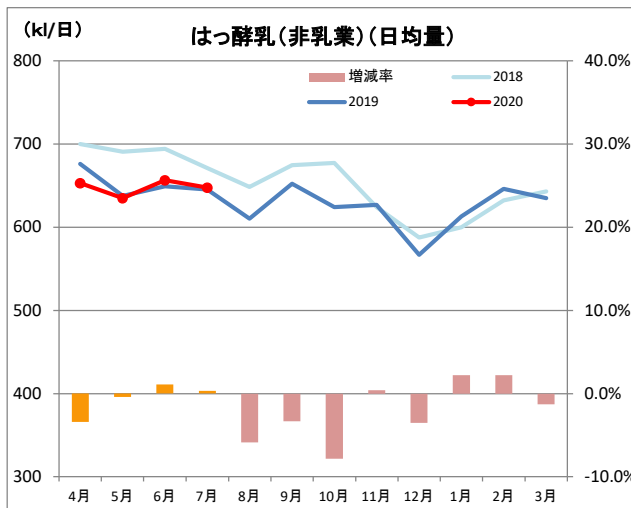
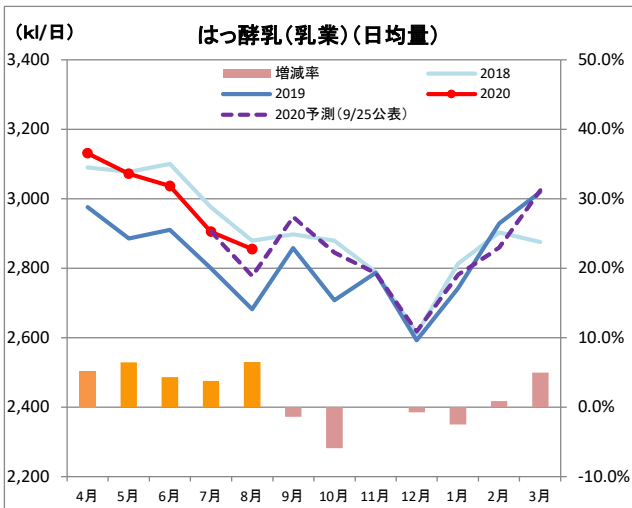
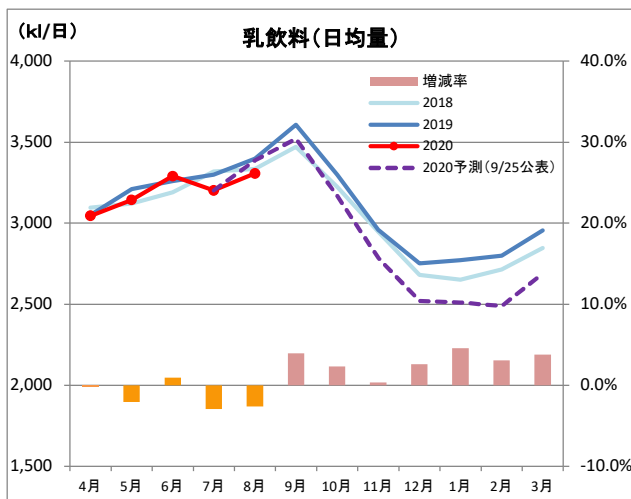
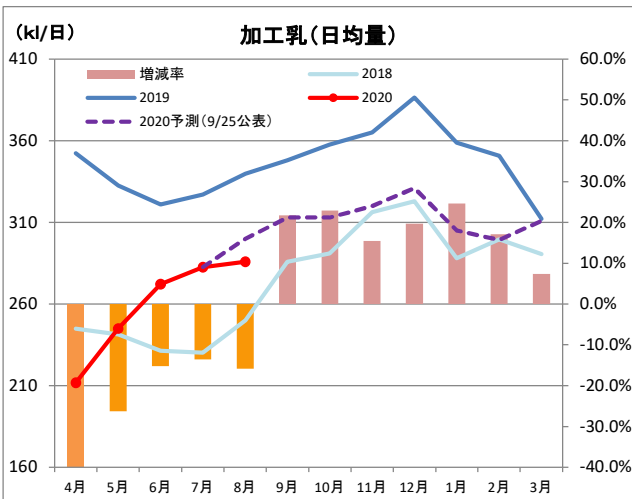
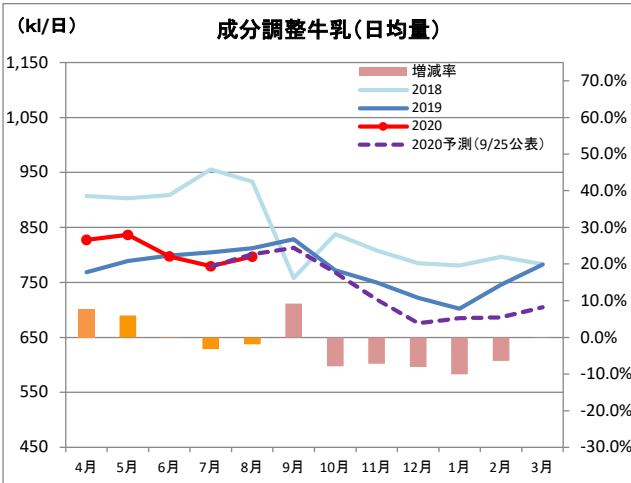
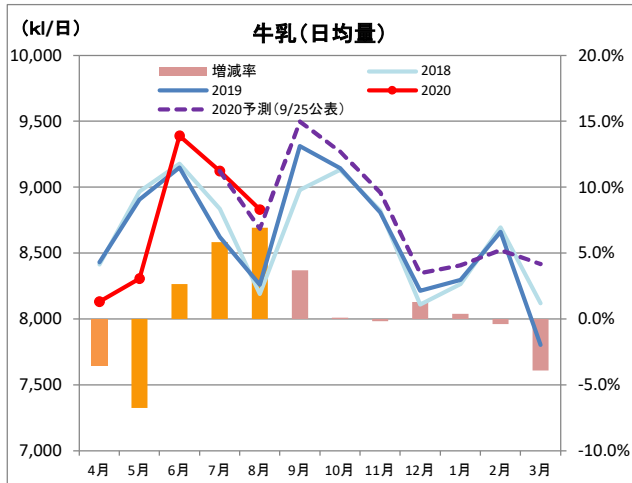
(1)8月の牛乳等生産量は、牛乳274千kl(前年同月比106.9%)、成分調整牛乳25千kl(同98.1%)、加工乳8.9千kl(同84.1%)、乳飲料103千kl(同97.4%)となり、牛乳類合計では410千kl(同103.2%)となった。

なお、予測値との比較では、牛乳(予測値:269kl)は上振れしているが、加工乳・乳飲料については下振れして推移している。

(2)「牛乳」のうち、「業務用以外」は、同104.6%と引き続き堅調に推移している一方、「業務用」は同89.3%と前年割れとなっている。また、「学乳」は同272.7%と夏期休業期間の短縮によって前年を大きく上回る結果となった。

(3)はっ酵乳(乳業)は89千kl(同106.5%)と前年を大きく上回っており、非乳業実績(7月)についても同100.3%と前年を若干上回って推移している。なお、はっ酵乳(乳業)は、予測値(86kl)を上振れして推移している。

※はっ酵乳(非乳業)資料：(一社)食品需給研究センター「食品製造業の生産動向」



【牛乳類の販売速報(推定値): インテージSRI】 ※量販店・コンビニ等、小売店の販売実績

(1)8月の動向(表①参照)

・販売個数は、牛乳:前年同月比109.0%、成分調整牛乳:同97.2%、加工乳:同96.9%、乳飲料:同105.4%。

・牛乳類では同107.1%と前年を上回って推移している。

・販売単価は、牛乳:190.7円、成分調整牛乳:173.4円、加工乳:184.2円、乳飲料:150.4円。

(3)直近(本年7月~)の動向(表②参照)

・直近(9/28週)の販売個数は、牛乳:前年同期比101.3%、成分調整牛乳:同87.8%、加工乳:同86.9%、乳飲料:同94.4%。

・牛乳類では同98.6%と前年を下回って推移している。

・販売単価は、牛乳:190.9円、成分調整牛乳:175.3円、加工乳:184.0円、乳飲料:150.1円。

・牛乳以外の品目については前週(9/21週)より減少幅が拡大している。

※出典 ㈱インテージSRI週データ。販売本数、販売単価(税抜)については推定値。データ転用はご遠慮下さい。

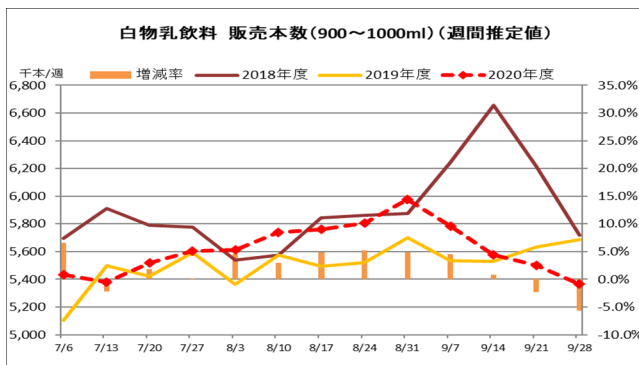
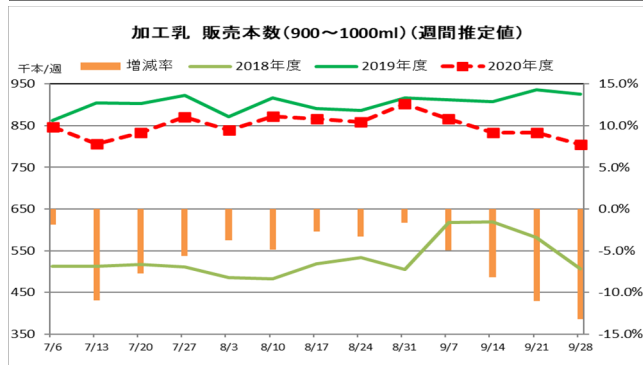
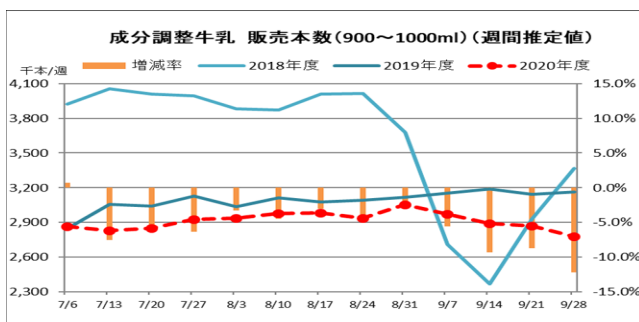
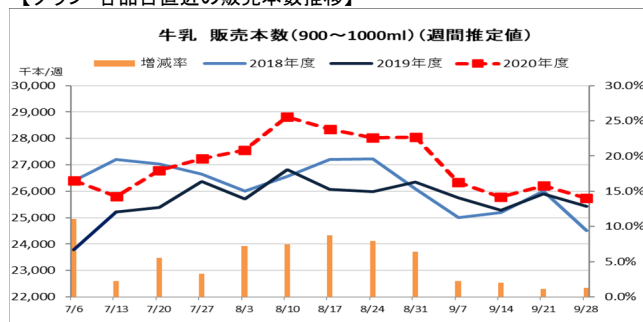
【表① 牛乳類の月別販売動向】

品目	区分	2019/9-	2019/10-	2019/11-	2019/12-	2020/1-	2020/2-	2020/3-	2020/4-	2020/5-	2020/6-	2020/7-	2020/8-
トータル	販売個数	153,596	148,298	134,058	136,831	130,706	130,783	148,892	157,820	170,377	157,603	156,578	168,143
	販売個数前年比	100.1	100.8	89.7	89.1	100.8	106.9	107.9	117.0	116.6	107.9	103.9	107.1
	販売単価	182.6	182.4	181.8	182.0	181.8	181.5	182.0	182.7	182.9	182.9	183.1	183.4
牛乳	販売個数	111,701	108,225	97,871	101,065	96,416	96,544	110,562	117,643	127,232	117,433	116,239	125,559
	販売個数前年比	100.5	102.6	100.2	100.0	101.4	107.7	109.1	119.2	119.1	110.1	105.8	109.0
	販売単価	190.5	190.2	189.7	189.4	189.4	189.1	189.3	189.9	190.3	190.3	190.7	190.9
成分調整牛乳	販売個数	13,640	12,364	11,490	11,514	11,016	11,040	12,526	13,231	13,978	12,662	12,597	13,197
	販売個数前年比	105.5	80.7	82.0	80.7	82.5	87.6	87.5	109.4	109.4	100.4	95.3	97.2
	販売単価	173.5	173.8	172.9	173.0	172.9	172.6	173.5	173.7	174.8	175.2	175.1	175.1
加工乳	販売個数	3,972	3,871	3,321	3,286	3,103	3,064	3,449	3,579	3,933	3,743	3,685	3,820
	販売個数前年比	160.1	178.1	180.9	179.3	178.0	188.6	189.0	108.3	102.7	98.4	93.1	98.9
	販売単価	184.7	183.3	182.6	183.5	182.7	182.1	182.9	184.3	181.3	180.4	181.6	184.7
乳飲料	販売個数	24,283	23,838	21,376	20,966	20,172	20,135	22,356	23,367	25,233	23,766	24,058	25,567
	販売個数前年比	90.2	99.0	102.4	100.8	103.7	109.5	108.8	112.5	111.3	103.3	101.7	105.4
	販売単価	151.0	151.4	150.3	150.5	149.9	150.0	150.4	150.9	150.8	150.7	150.8	150.4

【表② 牛乳類の販売動向(直近の動向)】

品目	区分	7.6-	7.13-	7.20-	7.27-	8.3-	8.10-	8.17-	8.24-	8.31-	9.7-	9.14-	9.21-	9.28-
トータル	販売個数	35,549	34,806	35,992	36,629	36,953	38,409	37,954	37,634	37,975	35,955	35,084	35,404	34,702
	販売個数前年比	109.1	100.3	103.5	101.7	105.6	105.4	106.8	106.1	105.2	101.7	100.5	99.4	98.6
	販売単価	183.0	183.0	183.2	183.1	183.4	183.8	183.4	183.2	183.7	183.8	183.9	183.5	182.9
牛乳	販売個数	26,401	25,794	26,794	27,225	27,566	28,821	28,343	28,033	28,043	26,330	25,782	26,204	25,751
	販売個数前年比	111.0	102.2	105.5	103.3	107.2	107.5	108.7	107.9	106.4	102.3	102.0	101.1	101.3
	販売単価	190.5	190.7	190.7	190.7	191.0	191.2	191.0	190.9	191.7	192.0	192.2	191.4	190.7
成分調整牛乳	販売個数	2,867	2,828	2,848	2,929	2,935	2,976	2,982	2,939	3,052	2,974	2,891	2,868	2,780
	販売個数前年比	100.7	92.4	93.6	93.6	96.7	95.6	97.0	95.0	97.8	94.4	90.7	91.3	87.8
	販売単価	175.3	174.8	175.3	175.1	175.0	175.1	175.0	175.3	175.4	175.4	174.9	174.4	173.4
加工乳	販売個数	846	806	833	871	839	872	867	858	902	867	833	833	804
	販売個数前年比	98.1	89.1	92.3	94.4	96.2	95.1	97.3	96.8	98.4	95.1	91.8	88.9	86.9
	販売単価	180.7	182.3	182.6	181.2	184.0	185.3	184.8	184.0	184.3	183.6	184.3	183.3	184.2
乳飲料	販売個数	5,435	5,379	5,518	5,604	5,612	5,740	5,763	5,804	5,978	5,784	5,578	5,499	5,366
	販売個数前年比	106.5	97.8	101.8	100.2	104.6	103.0	104.9	105.2	104.9	104.5	100.9	97.7	94.4
	販売単価	150.7	150.7	150.8	150.5	150.6	151.0	150.1	150.1	150.6	150.6	150.5	150.6	150.4

【グラフ 各品目直近の販売本数推移】



【ヨーグルト類の販売速報(推定値):(一社)Jミルク調べ】※量販店・コンビニ等、小売店の販売実績

(1)直近(本年7月～)の動向(表④参照)

直近(9/28週)の販売個数は、ドリンクタイプ(90～250ml):前年同期比90%以上、個食タイプ(70～130ml):同90%以上、大容量タイプ(350～500ml):同100%以上。

(2)ドリンクタイプ、個食タイプは引き続き前年を下回っているものの、前週(9/21週)から減少幅は縮小した。なお、大容量タイプは前週と同程度の伸び率で推移している。

【表③ ヨーグルト類の販売動向】

品目	7.6-	7.13-	7.20-	7.27-	8.3-	8.10-	8.17-	8.24-	8.31-	9.7-	9.14-	9.21-	9.28-
ドリンクタイプ	↘	↘	↘	↘	↘	↘	↘	↘	↘	↘	↘	↓	↘
個食タイプ	⇒	↘	↘	⇒	⇒	⇒	⇒	↘	↘	↘	↘	↘	↘
大容量タイプ	↑	⇒	⇒	↻	↑	↻	↻	⇒	⇒	↻	↻	⇒	⇒



:前年比90%未満



:前年比105%以上110%未満



:前年比90%以上100%未満



:前年比110%以上120%未満



:前年比100%以上105%未満



:前年比120%以上

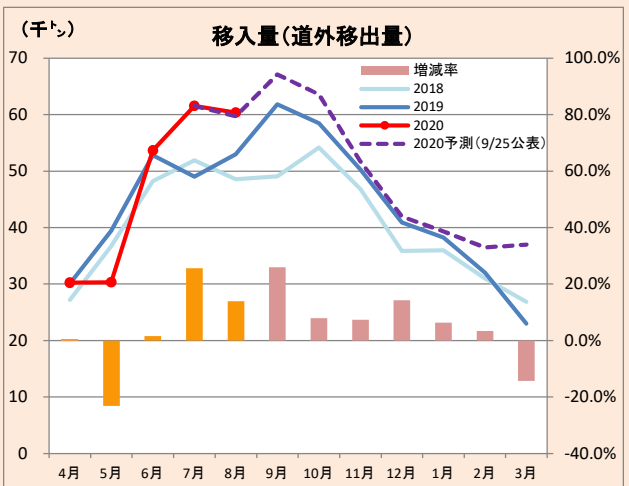
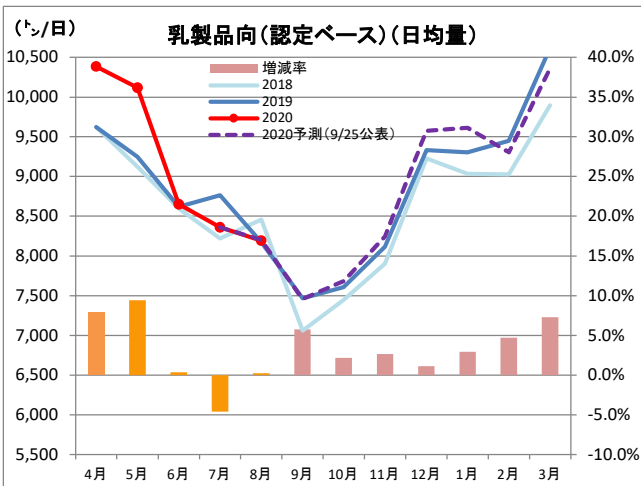
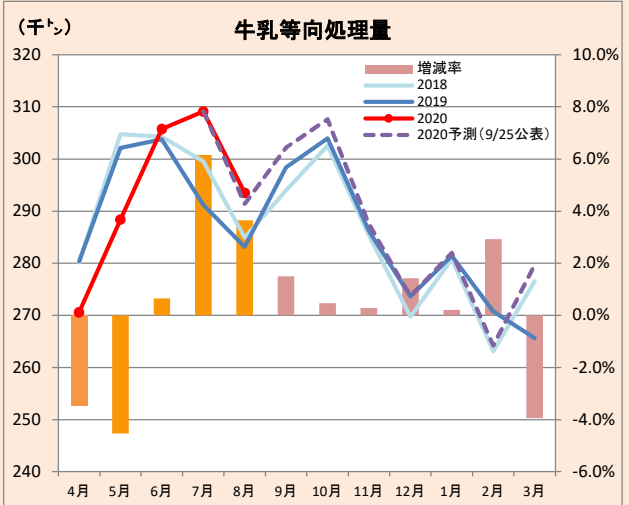
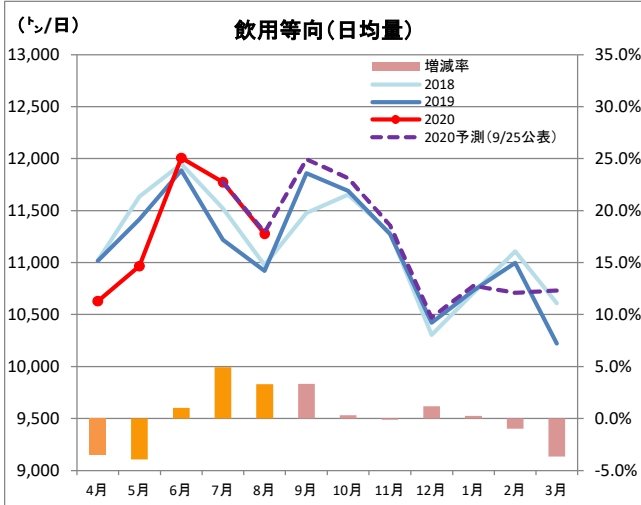
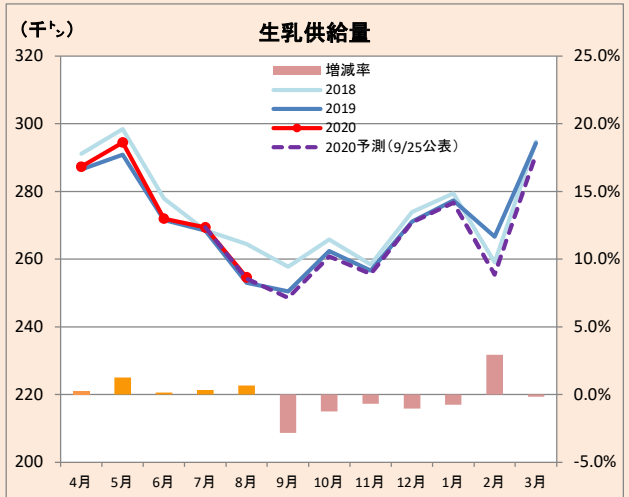
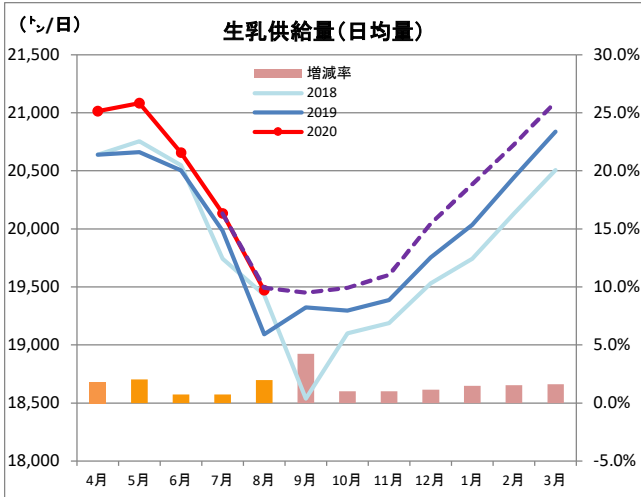
※なお、下地の色が濃いほうが、上記範囲内で前年との増減差が大きいことを表す。

【用途別処理量】 ※増減率は、日均量で算出。

(1) 8月の生乳供給量は604千トン(前年同月比102.0%)、飲用等向350千トン(同103.3%)、乳製品向(認定ベース)254千トン(同100.3%)。
 (2) 予測値との比較では、生乳供給量(予測値:604千トン)、飲用等向(予測値:350千トン)、乳製品向(予測値:254千トン)ともに同程度で推移している。

【都府県の生乳需給】 ※増減率は、日均量で算出。

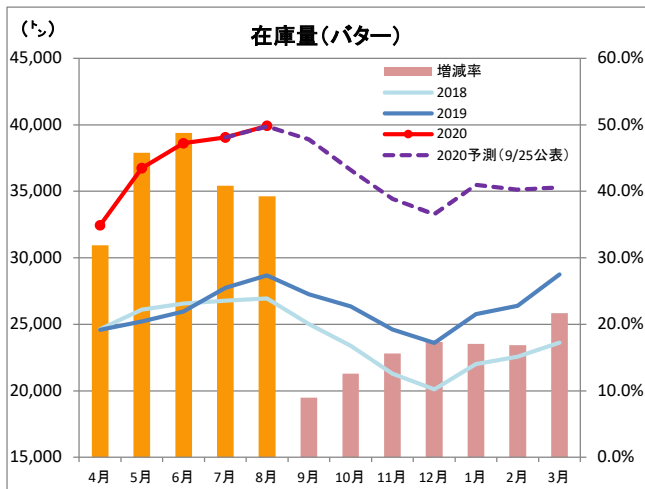
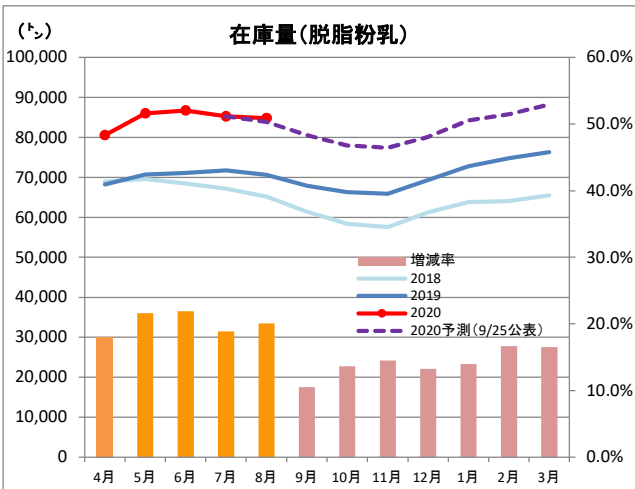
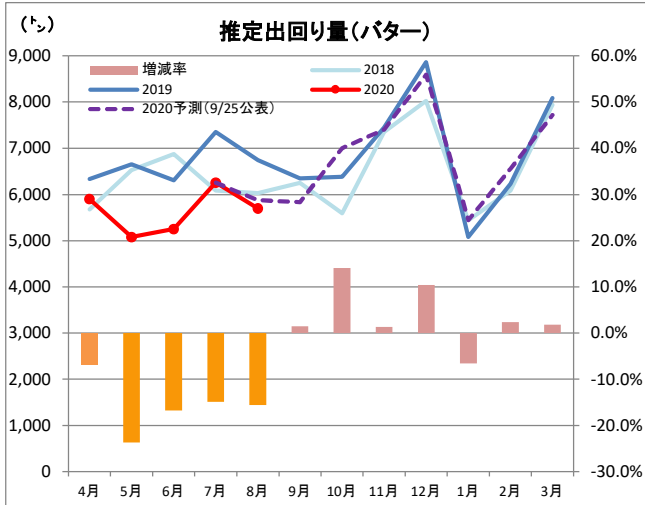
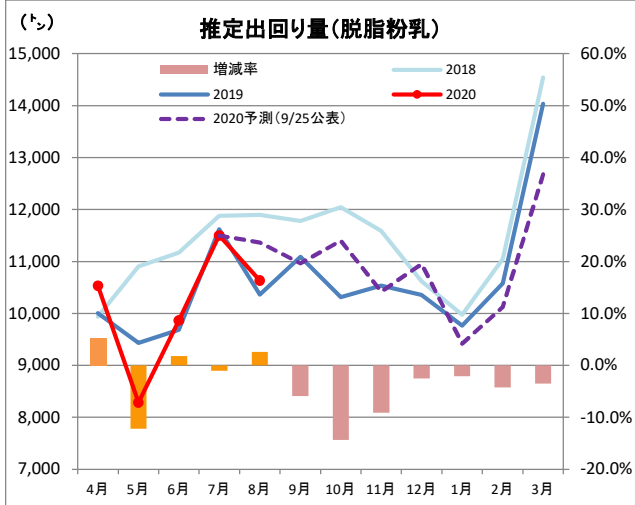
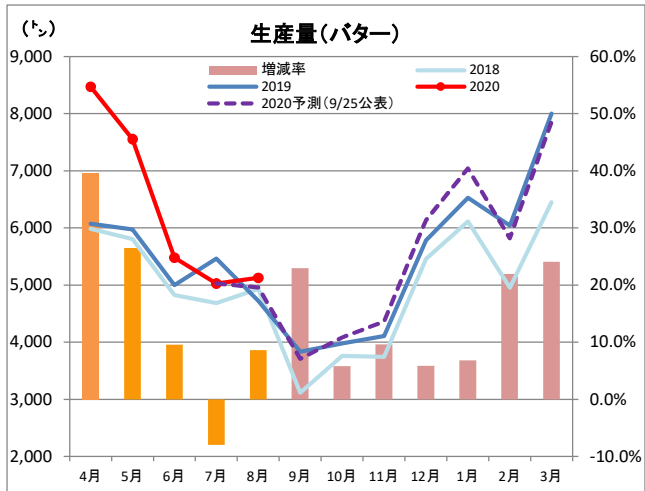
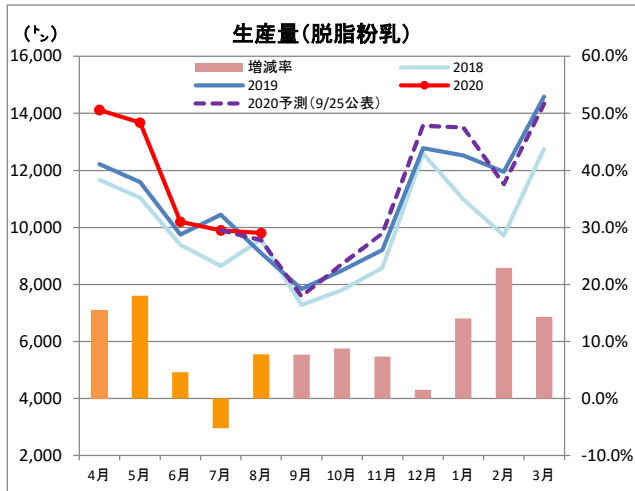
(1) 8月は、生乳供給量255千トン(前年同月比100.7%)、牛乳等向294千トン(同103.7%)。
 (2) 北海道からの移入量について、60千トン(同113.9%)と前月から大きく増加した。
 (3) 予測値との比較では、生乳供給量(予測値:254千トン)、牛乳等向(予測値:291千トン)、北海道からの移入量(予測値:60千トン)ともに同程度で推移している。



【脱脂粉乳・バター需給】 ※増減率は、日均量で算出。

(1) 脱脂粉乳は、8月の生産量は9.8千トン(前年同月比107.7%)、推定出回り量は10.6千トン(同102.6%)、その結果、在庫量は84.8千トン(同120.1%)。推定出回り量(≒需要量)は前年を若干上回って推移している。
 なお、予測値との比較では、生産量(予測値:9.6千トン)はやや上振れ、推定出回り量(予測値:11.4千トン)は下振れしており、在庫量(予測値:83.9千トン)は上振れとなっている。

(2) バターは、8月の生産量は5.1千トン(同108.6%)、推定出回り量は5.7千トン(同84.5%)、その結果、在庫量は39.9千トン(同139.2%)。推定出回り量(≒需要量)は引き続き低調に推移している。
 なお、予測値との比較では、生産量(予測値:5.0千トン)はやや上振れ、推定出回り量(予測値:5.9千トン)はやや下振れしているが、在庫量(予測値:39.9千トン)は同程度で推移している。

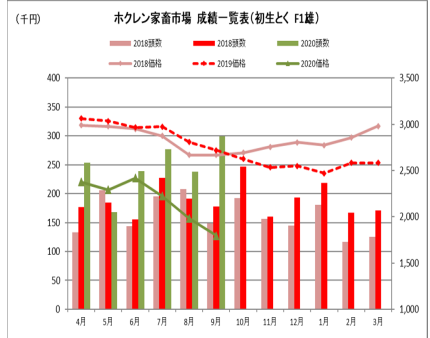
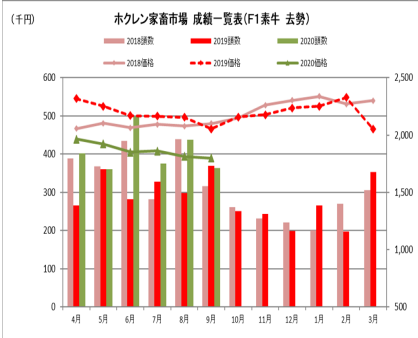
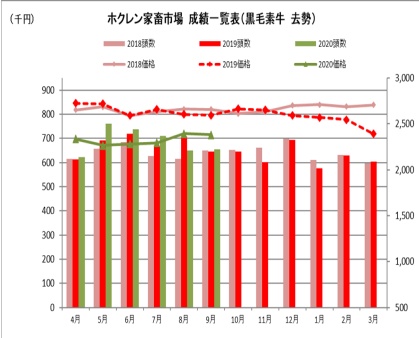
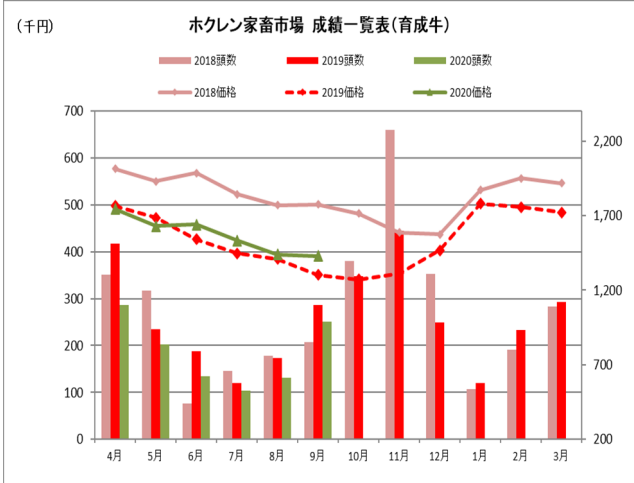
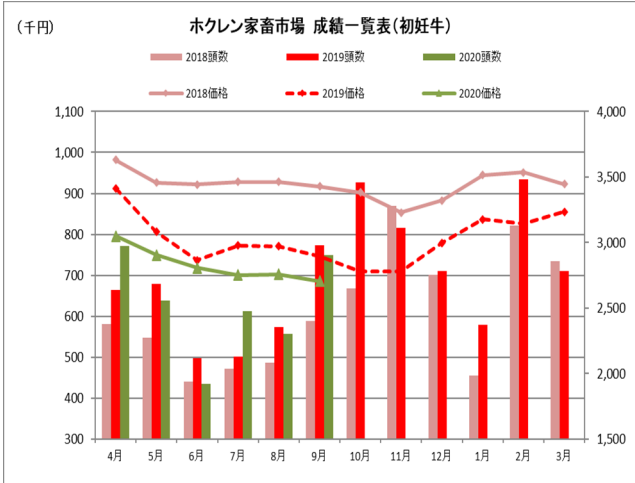


【家畜販売価格動向】

(1)9月の家畜販売価格動向について、ホクレン家畜市場集計によると、初妊牛価格は686千円(前年同期比91.8%)、育成牛価格は391千円(同111.4%)、和牛素牛(去勢)価格は715千円(89.8%)、F1素牛(去勢)価格は390千円(同83.7%)、F1初生(雄)価格は127千円(46.3%)。

(2)上場頭数(出回り頭数)は、初妊牛:同97.5%、育成牛:同89.7%。また、和牛素牛(去勢):同101.2%、F1初生(雄):同136.0%は前年を上回ったが、F1素牛(去勢):同98.9%と前年を下回った。

※ホクレン家畜市場集計表 速報値(<https://www.kachiku.hokuren.or.jp/Downloadresult.aspx>)



【枝肉市場の動向】

(1)8月の枝肉市場価格動向について、黒毛和牛は2,105円/kg(前年同月比88.4%)、F1(交雑種)は枝肉価格1,378円/kg(前年同月比84.2%)と春先から比較すると回復基調にはあるものの、引き続き前年を大きく下回っている。

(2)取引成立頭数について、黒毛和牛:35,622頭(前年同月比109.4%)、F1(交雑種):17,809頭(前年同月比100.3%)と前年を上回っている。

※農林水産省「食肉流通統計」。

